

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | 福岡和白リハビリテーション学院 |
| 設置者名 | 学校法人巨樹の会 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|--------|-----------------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 医療専門課程 | 理学療法学科 昼間コース | 夜・通信 | 9単位 | 9単位 | |
| | 理学療法学科 夜間コース | ⑨・通信 | 7単位 | 7単位 | |
| 医療専門課程 | 作業療法学科 昼間コース | 夜・通信 | 9単位 | 9単位 | |
| | | 夜・通信 | | | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|--|
| ホームページに掲載 https://www.fukuokawajiro-reha.jp/evaluation/pdf/jitumukeiken_2020.pdf |
|--|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | 福岡和白リハビリテーション学院 |
| 設置者名 | 学校法人巨樹の会 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

| |
|--|
| ホームページに掲載 https://kyoju.ac.jp/financial/ |
|--|

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容や期待する役割 |
|----------|---------------------|------------------------|----------------------------|
| 非常勤 | 一般社団法人巨樹の会 代表理事 | 令和2年4月1日～ 令和6年3月31日 | 産学連携における指導、調整及び組織運営体制のチェック |
| 非常勤 | 医療法人社団東京巨樹の会 理事長 | 令和2年4月1日～ 令和6年3月31日 | 学校運営全般 |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | 福岡和白リハビリテーション学院 |
| 設置者名 | 学校法人巨樹の会 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|--|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成過程 シラバス委員会が中心となり、学校法人巨樹の会の統一のカリキュラムを編成している。 カリキュラム編成は、4月から12月の期間で各科目担当者と意見交換。カリキュラム委員会にて意見を集約する。 カリキュラム委員会で集約したものを編成し、2月に授業計画(シラバス)を完成させ、4月にポータルサイトにアップし学生が閲覧できるようにする。 同時期にホームページにて公開を行う。</p> | |
| <p>授業計画書の公表方法</p> | <p>ホームページに掲載 https://www.fukuokawajiro-reha.jp/evaluation</p> |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位修得の認定は、当該科目における評価に基づき行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席日数が各科目授業時間数の3分の2に達しないものは、その科目の単位を修得できない。 ・授業科目の評価が60点以上の科目について単位認定する。 ・成績評価の方法は、定期試験、出席状況、提出物等、講義への取り組みを総合的に判断し評定する。 ・授業科目の評価はA・B・C・Dの4段階とし、C以上を合格とする。 | |
| <p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> | |

| | |
|---|--|
| (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) | |
| <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。 (100点満点で点数化) 「90～100点」「80～89点」「70～79点」「60～69点」「50～59点」 「～49点」を指標に6段階に分け下位4分の1に該当する人数を把握する。 ※休学者、退学者は人数から除外する</p> | |
| 客観的な指標の算出方法の公表方法 | ホームページに掲載 https://www.fukuokawajiro-reha.jp/evaluation/ |
| 4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 | |
| (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) | |
| <p>履修すべき科目のすべてにおいて単位修得の認定を受けたものについては、学院長が卒業を認定する。</p> | |
| 卒業の認定に関する方針の公表方法 | ホームページに掲載 https://www.fukuokawajiro-reha.jp/evaluation/ |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | 福岡和白リハビリテーション学院 |
| 設置者名 | 学校法人巨樹の会 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://kyoju.ac.jp/financial/ |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://kyoju.ac.jp/financial/ |
| 財産目録 | https://kyoju.ac.jp/financial/ |
| 事業報告書 | https://kyoju.ac.jp/financial/ |
| 監事による監査報告（書） | https://kyoju.ac.jp/financial/ |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|-------------|-------|-------|------|----|
| 医療 | | 医療専門課程 | 理学療法学科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3 年 | 昼 | 127 単位 | 68 単位 | 38 単位 | 21 単位 | 単位 | 単位 |
| | | 127 単位 | | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 240 人 | | 251 人 | 0 人 | 11 人 | 4 人 | 15 人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 資格取得を目的とし1年次、2年次では演習・講義を中心に、3年次では臨床実習・国家試験対策を中心としたカリキュラムとする。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） ・講義・実習に必要な時間の出席状況と当該科目の成績評価 ・授業科目の評価はA・B・C・Dの4段階とし、C以上を合格とする。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） 卒業）履修すべき科目のすべてにおいて単位修得の認定を受けたものについては、学院長が卒業を認定する。 進級）規定の出席率（欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内）かつ、原則として当該学年において履修すべき全科目に合格したものは進級とする。 |

| |
|---|
| 学修支援等 (概要) 成績不良者に対し、学習支援を実施。長期欠席者に対し、担任より電話連絡し、状況確認を行い状況に応じ、学生、保護者、担任、教務部長を含めた面談実施。 |
|---|

| | | | |
|---|-----------|-------------------|--------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 53人 (100%) | 0人 (%) | 49人 (92.5%) | 4人 (7.5%) |
| (主な就職、業界等) 病院、医療施設、福祉施設等 | | | |
| (就職指導内容) 外部講師による面接対策セミナー実施 グループ4校での合同就職説明会、学内就職説明会開催 教員による履歴書添削指導、模擬面接実施 | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) 理学療法士国家試験受験資格 受験者 53人 合格者 49人 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| | | |
|---|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 220人 | 8人 | 3.6% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更等 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談等によるフォロー、学校行事を通してリフレッシュを図る | | |

| | | | | | | | |
|--------|--------|-----------------------|-------------|-------|------|----|----|
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 医療 | 医療専門課程 | 作業療法学科 | ○ | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| 3年 | 昼間 | 126単位 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| | | | 71単位 | 32単位 | 23単位 | 単位 | 単位 |
| | | | 126単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 120人 | 130人 | 0人 | 9人 | 4人 | 13人 | | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 資格取得を目的とし1年次、2年次では演習・講義を中心に、3年次では臨床実習・国家試験対策を中心としたカリキュラムとする。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） ・講義・実習に必要な時間の出席状況と当該科目の成績評価 ・授業科目の評価はA・B・C・Dの4段階とし、C以上を合格とする。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） 卒業）履修すべき科目のすべてにおいて単位修得の認定を受けたものについては、学院長が卒業を認定する。 進級）規定の出席率（欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内）かつ、原則として当該学年において履修すべき全科目に合格したものは進級とする。 |
| 学修支援等 |
| （概要） 成績不良者に対し、学習支援を実施。長期欠席者に対し、担任より電話連絡し、状況確認を行い状況に応じ、学生、保護者、担任、教務部長を含めた面談実施。 |

| | | | |
|---|-------------|-------------------|-------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 25人 (100%) | 0人 (0%) | 23人 (92%) | 2人 (8%) |
| （主な就職、業界等） 病院、医療施設、福祉施設等 | | | |
| （就職指導内容） 外部講師による面接対策セミナー実施 グループ4校での合同就職説明会、学内就職説明会開催 教員による履歴書添削指導、模擬面接実施 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士国家試験受験資格 受験者 25人 合格者 23人 | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | |

| | | |
|----------|----------------|------|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 117人 | 6人 | 5.1% |

(中途退学の主な理由)
進路変更等

(中退防止・中退者支援のための取組)
担任による面談等によるフォロー、学校行事を通してリフレッシュを図る

| | | | | | | | |
|----------|----|---------------------------|-------------|-------|-------|------|----|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 医療 | | 医療専門課程 | 理学療法学科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 4 年 | 夜 | 127 単位 | 68 単位 | 38 単位 | 21 単位 | 単位 | 単位 |
| | | | 127 単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 160 人 | | 50 人 | 0 人 | 7 人 | 3 人 | 10 人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） 資格取得を目的とし1年次、2年次、3年次では演習・講義を中心に、4年次では臨床実習・家試験対策を中心としたカリキュラムとする。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） ・講義・実習に必要な時間の出席状況と当該科目の成績評価 ・授業科目の評価はA・B・C・Dの4段階とし、C以上を合格とする。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） 卒業）履修すべき科目のすべてにおいて単位修得の認定を受けたものについては、学院長が卒業を認定する。 進級）規定の出席率（欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内）かつ、原則として当該学年において履修すべき全科目に合格したものは進級とする。 |
| 学修支援等 |
| （概要） 成績不良者に対し、学習支援を実施。長期欠席者に対し、担任より電話連絡し、状況確認を行い状況に応じ、学生、保護者、担任、教務部長を含めた面談実施。 |

| | | | |
|---|--------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 15 人 (100%) | 0 人 (0%) | 12 人 (80%) | 3 人 (20%) |
| （主な就職、業界等） 病院、医療施設、福祉施設等 | | | |
| （就職指導内容） 外部講師による面接対策セミナー実施 グループ4校での合同就職説明会、学内就職説明会開催 教員による履歴書添削指導、模擬面接実施 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士国家試験受験資格 受験者 15 人 合格者 12 人 | | | |

(備考) (任意記載事項)

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 51人 | 0人 | 0% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更等 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談等によるフォロー、学校行事を通してリフレッシュを図る | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|--|-----------|-------------|-----------|------------------------------|
| 理学療法学科 昼間コース | 250,000 円 | 950,000 円 | 770,000 円 | テキスト代・臨床実習費 ユニフォーム代・施設整備費 |
| 作業療法学科 昼間コース | 250,000 円 | 950,000 円 | 770,000 円 | テキスト代・臨床実習費 ユニフォーム代・施設整備費 |
| 理学療法学科 夜間コース | 250,000 円 | 650,000 円 | 670,000 円 | テキスト代・臨床実習費 ユニフォーム代・施設整備費 |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| 授業料減免制度 (早期入学者) 特待生制度 家族入学優遇制度 専門実践教育訓練給付金 (理学療法学科昼間コース・作業療法学科) 修学支援金制度 (理学療法学科夜間コース) | | | | |

b) 学校評価

| |
|---|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.fukuokawajiro-reha.jp/evaluation/ |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) |
| <p>【評価項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育理念・目標 2. 学校運営 3. 教育活動 4. 学修成果 5. 学生支援 6. 教育環境 7. 学生の受入れ募集 8. 財務 9. 法令等の遵守 10. 社会貢献・地域貢献 11. 国際交流 <p>【評価委員会の構成】 6名 (地域委員1名、有識者委員2名、企業等委員2名、卒業生1名)</p> <p>【学校評価実施責任者】 副学院長 田川秀明</p> <p>【評価結果の活用方法】 (意見) 感染症対策での休校措置における学習方法・遠隔授業方法の検討はされているか。 → (活用) 4～5月は課題での対応を主体に遠隔授業を予定。分散登校、対面授業の併用など試験的に実施する。両学科教務部長責任の下、5月開始する。</p> <p>(意見) ボランティア、社会貢献、地域貢献は医療人、社会人としての資質向上につながると思うので継続していくことは大切。 → (活用) 自然災害への備え、危機管理能力、救急救命などをカリキュラムに取</p> |

| | | |
|--|--------------------|-------|
| <p>り入れ演習を実施予定。両学科教務部長よりカリキュラム委員会へ指示し、学科担当者が実行する。 前期科目「リハビリテーションと作業療法Ⅱ」「リハビリテーションと理学療法Ⅱ」で実施。</p> | | |
| <p>学校関係者評価の委員</p> | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 福岡和白病院 | 2020/4/1～2022/3/31 | 企業等委員 |
| 福岡和白病院 | 2020/4/1～2022/3/31 | 卒業生 |
| 折尾愛真高等学校 | 2020/4/1～2022/3/31 | 有識者委員 |
| 西九州大学 | 2020/4/1～2022/3/31 | 有識者委員 |
| <p>学校関係者評価結果の公表方法</p> | | |
| <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.fukuokawajiro-reha.jp/evaluation/</p> | | |
| <p>第三者による学校評価 (任意記載事項)</p> | | |
| <p style="background-color: #cccccc;"> </p> | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.fukuokawajiro-reha.jp/evaluation/</p> |
|--|